

2050年カーボンニュートラル・ 全国フォーラム

武井 壮

タレント・元陸上・十種競技日本チャンピオン
環境省サステナビリティ広報大使

令和2年12月17日

【プロフィール】

元・陸上 十種競技日本チャンピオン。陸上、野球、ゴルフ、格闘技などさまざまなスポーツを経験し、2012年5月からは「**百獣の王**」としてバラエティ番組やスポーツ番組などメディアを中心にタレントとして活動。

2015年、2018年には世界マスターズ陸上の世界大会にて4×100mリレーで金メダルを獲得したり、新たにビリヤードやピアノ、乗馬、俳句などにもチャレンジ中。

2020年11月から**環境省サステナビリティ広報大使**に就任。

2022年に延期になったワールドマスターズゲームズ関西応援大使、東京TOKYOパラスポーツプロジェクト「TEAM BEYOND」メンバーもつとめている。

■ Youtubeチャンネル「武井壮 百獣の王国」

■ twitter/Instagram/TikTok @sosotakei



【2050年カーボンニュートラルに向けた宣言】

環境省サステナビリティ広報大使として、

気候変動 × スポーツ

を切り口に、私たちアスリートをはじめとした民間人が、気候変動に対して日常生活でどんなアクションが有効な手段となり得るのかを、簡単なことから、少しずつ発信、実行していきたいと思っています。

【「スポーツ×気候変動」 提言①】

■スポーツの現場から

スポーツイベントでの「ワンアクション」でCO₂を減らせると誰もが理解し実行に移せるマップを作成

- ・試合の紙チケット、パンフレット、ポスター → 全て再生可能なものに
- ・客席のシート → プラスチックゴミをアップサイクルした製品に
- ・ドリンクやフード、移動手段 ……など

⇒ こうした活動が『当たり前』に昇華するよう訴求。

■気候変動でこんなスポーツができなくなる！？

夏期のマラソン、冬期のスキー……世界地図上に、プレーできなくなるスポーツを見える化

- ・「自分の時代はまだ…」と他人事のアスリートにも実感を持ってもらいたい
- ・自分の楽しむ、愛したスポーツが失われていく、というところからスポーツ界全体で意識変革

【「スポーツ×気候変動」 提言②】

■ 運動エネルギーを蓄積 ⇒ エネルギーへ変換

- ・トレーニングやゲームなどに費やす時間とエネルギーは莫大な資源！
- ・地球上で運動する人間の総運動量をエネルギー変換⇒CO2排出を抑えられるのでは。

■ 地球環境に貢献するスポーツ界へ アスリートのアワードを設立

- ・競技力の向上だけでなく地球環境に貢献するスポーツ界を目指すべき。
- ・そうした活動を多くできた個人や団体を、競技力と総合して表彰するアワードを設立！